

地方経済情報 Weekly No.392

香港で球磨焼酎の商談会を開催しました！

1. 球磨焼酎の香港販路拡大事業

当研究所は肥後銀行と共同で、球磨焼酎の海外でのブランド力向上と販路開拓を目的としたプロジェクトに取り組んでいます。その一環で8月中旬に香港にて、蔵元を中心とした9事業者（松下醸造場、高田酒造場、林酒造場、六調子酒造、緋月酒造、深野酒造、高橋酒造、大和一酒造元、鳥越商店）の商品を、現地のバイヤーと消費者に向けて直接PRしました。

運営にはくまもとDMCと熊本香港事務所が加わり、「割烹櫓杏（ろあん）」にて現地バイヤーに向けた試飲商談会、焼酎専門バー「天十（てんじゅう）」で一般客に向けたイベントを開催したほか、世界中から食品バイヤーが集まる「Food Expo Pro 2023」に出展しました。

2. 香港の焼酎市場

熊本香港事務所によると、香港での焼酎の認知度はまだ低く、主に日本料理店や日本食材店で扱われるに留まります。市場拡大にはまずアルコールに興味のある層へ知ってもらうことが有効な手段と考え、今回は現地のバー関係者への訴求に注力しました。

3. 球磨焼酎の海外販路拡大に向けて

また本プロジェクトでは同時にフランスでの販路開拓も行っています。日本産酒類イベント「Salon du sake」へ出展するほか、10月にはパリで飲食関係者を集めた商談会を開催予定です。今後も球磨焼酎の海外販路開拓を支援し、人吉球磨地域の活性化につなげていきます。

当研究所の球磨焼酎支援の取組みはこちら <https://www.reri.or.jp/shochu/>



(写真1) 熊本県産品を扱う「割烹櫓杏」を貸し切り、バイヤーを集めて商談会を行いました。
(中央：林酒造場・林杜氏、8月16日)



(写真2) 焼酎バー「天十」とのコラボイベントで、一般客にPRしました(左：高田酒造場・高田常務企画開発部長、8月17日)



(写真3) Food Expo Pro2023 では多くの来場者に試飲を提供しました(左：深野酒造・深野代表取締役、8月19日)



(写真はすべて当研究所撮影)

担当：研究員 古田 千智